

# 暴君怪獣 タイラント

## バトルカード

### RR第4弾

4-051

冷氣攻撃:2500  
タイリョク:1400  
ルーレット(時計回りに):5.3.2.1.1.1  
じゃんけんアイコン:チョキ  
テキスト:戦いが好きなレイオニクスに操られているぞ。

## 以下、大怪獣バトルRR以前のカード

### 怪獣カード

#### 第3弾

怪獣113  
スーパーレア

爆炎放射:3500  
アタック:1400 ディフェンス:400 スピード:700 パワー:1600  
コンボ:ウルトラマン

怪獣114

暴君ハンマー:2300  
アタック:1200 ディフェンス:400 スピード:500 パワー:1200  
コンボ:テンペラー星人

#### 第4弾

怪獣177

冷氣攻撃:2500  
アタック:1300 ディフェンス:400 スピード:600 パワー:1400  
コンボ:エースキラー

怪獣178

暴君ハンマー:2300  
アタック:1400 ディフェンス:200 スピード:500 パワー:1200  
コンボ:ダダ

### NEO第1弾

怪獣N025

冷氣攻撃:2500(冷氣)  
アタック:1300 ディフェンス:400 スピード:600 パワー:1400  
スタミナ:2  
コンボ:インペライザー  
得意:闇  
苦手:すごい高熱、冷氣、光  
タイプ:アグレッシブ(3)

### NEO第3弾

怪獣 N128

爆炎放射：3500(高熱)  
アタック：1400 ディフェンス：500 スピード：700 パワー：1500  
スタミナ：2  
コンボ：EXタイラント  
得意：闇  
苦手：高熱、すごい冷氣、光  
タイプ：タクティカル(4)

## NEO第6弾

怪獣 N290

ハイブリットヘルサイクロン：3700  
アタック：1400 ディフェンス：700 スピード：700 パワー：1300  
スタミナ：2  
コンボ：キングジョーブラック  
得意：闇  
苦手：高熱、冷氣、光  
タイプ：アグレッシブ(5)

## NEO-GL第3弾

怪獣 N534

爆炎放射：3500(高熱)  
アタック：1400 ディフェンス：400 スピード：700 パワー：1600  
スタミナ：2  
コンボ：キングオブモンス  
得意：闇  
苦手：高熱、すごい冷氣、光  
タイプ：カウンター(15%)

## 拡張第2弾

E-021

暴君ハンマー：2300  
アタック：1200 ディフェンス：200 スピード：700 パワー：1200  
コンボ：超コウヴ

## 応援カード

P-040

冷氣攻撃：2500  
アタック：1200 ディフェンス：400 スピード：600  
コンボ：ウルトラマンティガ

## ソフビ付属カード

NS01

冷氣攻撃：2500(冷氣)  
アタック：1300 ディフェンス：400 スピード：600 パワー：1400  
スタミナ：2ラウンド  
コンボ：インペライザー  
得意：闇  
弱点：すごい高熱、冷氣、光  
タイプ：アグレッシブ(4)

## レイオニクスチャレンジ

爆炎放射：3700(高熱)  
アタック：1600 ディフェンス：900 スピード：900 パワー：1600  
スタミナ：2  
得意：闇

苦手：高熱、すごい冷気、光  
タイプ：カウンター

属性情報（EX以前及び応援カード）

必殺技属性：爆炎放射（高熱）、冷気攻撃（冷気）  
得意な属性：-  
苦手な属性：高熱（冷気攻撃のものは「すごい」）・冷気（爆炎放射のものは「すごい」）

## 技カード

### [タイラント（技）](#)

### 技カード・レイオニクスチャレンジカード（グランデ）

148グラルファン  
145ゾンバイユ  
E-060マグマ星人  
N209カネドラス

冷気攻撃:2500  
タイリョク:1400  
ルーレット(時計回りに):5.3.1.1.1.1  
じゃんけんアイコン:ゲー

備考

[ウルトラマンタロウ](#)に登場した、合体超獣でもある[ジャンボキング](#)をも超える合体怪獣。これに使われているのは今までウルトラ兄弟に倒されてきた怨念というべき怪獣ばかり。ポイントは「倒された」ことであって「死んだ」怪獣のパーツではない。頭はシーゴラス、耳はイカルス星人、胴体は[ベムスター](#)、腕は[バラバ](#)、背中はハンザギラン、脚は[レッドキング](#)、尻尾はキングクラブより構成されている。また、後頭部の角は[ブラックキング](#)、腕の突起物は[ベロクロン](#)のミサイルの鰓などという裏設定も当時はあった。

アタックとパワーが非常に高く、ディフェンスが低い極端なタイプ。スピード型の敵に対応しにくいと言う点を除くと、ファイナルラウンドまで十分耐えられるこの体力は非常に魅力的だ。113のコンボマークは[ウルトラマン](#)だが、他の第3弾の強力カードと同じく、パワーギリギリにならないと技カードがつかえない。そのためこの怪獣メインでのウルトラマン召還は難しい。第4弾のカード178はこの時期のカードには珍しく最下級ながら最上級と同等のアタック値を持つ。しかも同時期の最下位カードと比べてもトップレベルのアタック値である。（アタックに関しては同弾の中位カードより高かったりする）だがその代償は大きかったのか、ディフェンスがNEO4弾現在全カード中最低の200という無い同然の数値に設定されてしまっている。色々な意味で衝撃的な1枚だ。拡張第2弾のカードも最上級と同等のスピードがあるが同じくディフェンス200。[ムルロア](#)を使われるだけでディフェンス0になってしまう。また、弱点属性がやや多いのも問題。劇中、超低温の環境で生まれておきながら冷気に弱く、ウルトラ戦士の光線を受けて平気だったにも関わらず、光や高熱に弱いとはいかがなものだろうか？

ちなみに[ベムラー](#)と共にカードダス第二弾で顔見せ参戦したが、第3弾も同時期に登場した。そのため004/バルタン星人やカードダス第一弾で登場の[レッドキング](#)や小学館六誌付属の[ゼットン](#)のようにフライングというわけではない。

強い怪獣には変わらないが、クセが強く使いこなすにはちょっとした技量がいる。登場当初は大パワーを頼りにわざと打たれ、ガードボーナスを溜めてダウン寸前の所で必殺技を放ち勝利するという戦法があったが、EX化に伴うファイナルラウンドボーナスの導入でこの戦法が意味をなくしてしまった。しかし、パワー1600以上の怪獣としては唯一応援怪獣を召喚出来るメリットを生かし、戦闘は応援に任せてファイナルラウンドまで体力を温存するという戦法が誕生。

NEO化以降は高いパワーを武器に[ガタノゾア](#)等と共に鉄壁の砦として、またアタッカーとして以前よりも使いやすくなった。

更にNEO第3弾にて最上位カードが待望の再登場。ステータスに関しては持ち前のパワーが若干下がったものの、ディフェンスが多少改善され作戦カードもタクティカル4となり、既存の物より大幅に使いやすくなった。そして、爆炎放射と冷気攻撃を合わせた第4の技「ハイブリットヘルサイクロン」が登場...するはずだったのだが、何故か公式ページにて技が爆炎放射に差し替えられ、イラストまで変更されている。

結果的にNEO6弾で収録されたが、ステータスは[レッドキング](#)に劣っている。  
しかし、ハイブリットヘルサイクロンの威力は非常に高くタッグ必殺技も発動できる。

なお、常時スタミナ2の為、救済措置として[キングオブモンス\(技\)](#)を使うと言う手もある。  
尤もスピードゲージが怪獣型な為、使った途端ゲージを止めに小さくなってしまいが・・・

NEO第4弾ではEXラウンドでウルトラギャラクシーNEO同様グランデの怪獣として登場。  
レイオニックバーストのおかげでステータスが補強されているが、アタックとスピードが高い怪獣で挑めば大丈夫であろう。

P-40のコンボマークが[ウルトラマンティガ](#)。  
ソフビが[EXゴモラ](#)より売れていることもあるが、ティガ目当ての購入者が多い。  
NEO3弾にてレア以下の怪獣にティガコンボを持つ怪獣が2体確認されたので、まだ持っていない人も  
手に入れておいて損は無いはず。  
また、12月下旬新造形ソフビ人形が発売された。  
造形は「ウルトラギャラクシーNEO」に登場した着ぐるみのものを忠実に再現しており、タロウ版のものより出来が良くなっている。

ちなみに属性の影響を受けると1400以上のダメージを食らってしまう。尚稀に2000近くも食らってしまう事もある。  
参考(YouTubeより)

## ウルトラギャラクシーNEOでのタイラント

ついにあの暴君怪獣がテレビに帰ってくることが決定した！  
着ぐるみは新規造形。  
オリジナルと比べて左手のバラバ鉄球が小さめになっている。

第06話[キール星人](#)グランデに操られる怪獣として登場した。  
オリジナル通りのパワフルさはそのままに、  
バラバの鉄球&鎌、キングクラブの尻尾、レッドキングの脚で格闘攻撃を仕掛け、  
[ゴモラ](#)が放った超振動波をベムスターの胴体で吸収。  
更に耳からはイカルス星人のアロー光線を放つなどオリジナルより各部の能力を多用している。  
ゴモラに圧勝し、[スペースペンドラゴン](#)を庇った[エレキング](#)を消滅させてしまった。

7話ではネオバトルナイザーより召喚されたゴモラと再び激突。  
第二覚醒を遂げたゴモラに互角の戦いを展開するが、一瞬の隙を突かれゼロシュートによって倒された